

平成30年度第1回国立高専における次世代の海洋人材育成に関する協議会

議 事 次 第

日 時：平成30年9月26日（水）10:00 ～ 11:30

場 所：学術総合センター2階 会議室 201・202

1. 開会
2. 理事長挨拶
3. 連携協力機関の紹介
4. 議事
 - (1) 活動報告
 - (2) 今後の活動計画
 - (3) 海事フォーラムについて
 - (4) 意見交換
 - (5) その他
5. 閉会

【配布資料】（予定）

資料1 国立高専における次世代の海洋人材の育成に関する協議会名簿

資料2 活動報告

資料3 今後の活動計画

資料4 海事フォーラム概要

資料5 商船高専への要望等について

参考資料1 国立高専における次世代の海洋人材の育成に関する取組

参考資料2 国立高専における次世代の海洋人材の育成に関する協議会設置要項

国立高専における次世代の海洋人材の育成に関する協議会名簿

【高専】（高専番号順）

賞雅	寛而	富山高等専門学校	校長
林	祐司	鳥羽商船高等専門学校	校長
辻	啓介	広島商船高等専門学校	校長
福田	勝哉	大島商船高等専門学校	校長
井瀬	潔	弓削商船高等専門学校	校長

【連携協力機関】（五十音順）

酒迎	和成	一般社団法人全日本船舶職員協会	会長
田中	俊弘	一般社団法人日本船主協会	常務理事
磯谷	兵衛	公益社団法人日本海洋少年団連盟	理事長
井上	登志仁	国際船員労務協会	常務理事
内田	誠	国立大学法人神戸大学大学院海事研究科	研究科長
塚本	達郎	国立大学法人東京海洋大学海洋工学部	学部長
池谷	義之	全日本海員組合	国際局長

計 12 名

グローバル化と技術革新の進む海運業界のニーズに将来にわたって応え続け、我が国の海上輸送を担い続けることのできる知識と資質を備えた、次世代の海事人材を育成するための新しい教育システムを構築すべく、全国5つの商船系高専と4つの海事関連団体が強く連携し、本年度は以下3つのサブプロジェクトを推進中である。

- ① 海運業界からの高度なニーズを正確に把握、次世代海事人材が具備すべき知識・資質の内容・レベルを調査・検証
- ② コミュニケーション能力や国際性等の資質を確かな能力として定着させるグローバル教育プログラムを実装
- ③ 将来の技術革新にも対応する高度な専門教育と確実なキャリア教育を商船系高専カリキュラムへ実装

産学連携強化とニーズ把握

- 高専教員が運航中の船舶に同乗する**船舶運航実務乗船研修**を継続的に実施中（毎年7～9月実施、5校の教員5名が参加）



- 海運業界や社会からどのような商船教育が求められているのかについて、海運業界で活躍中の商船学科卒業生に対する**大規模意識調査**を実施中（H30年3月に質問紙を郵送）

グローバル教育

- 5校に**グローバル教育拠点**を整備し英語補助教員を配置、海事業務に特化した教材による教育など、将来の海運業界のニーズにも対応する新しい英語教育プログラムを継続的に開発中
- ハワイ大学カウアイコミュニケーションカレッジ等での**国際インターンシッププログラム**（毎年3月実施）の参加者を募集中

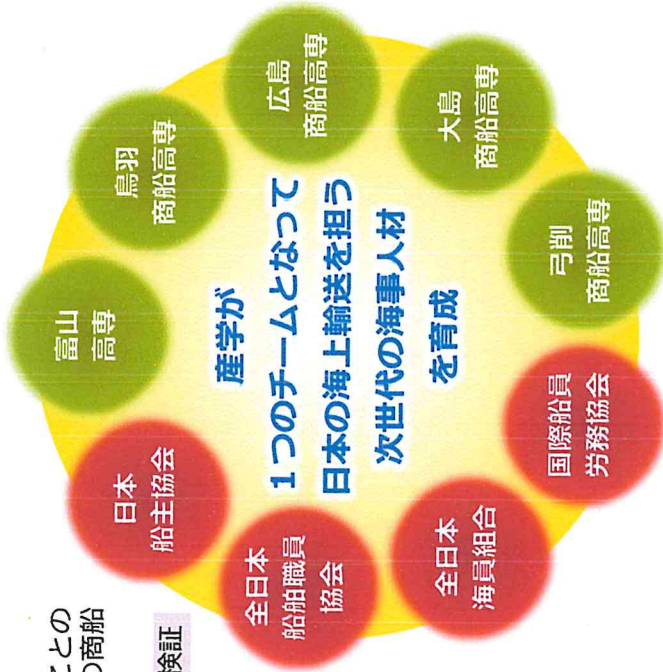


専門教育とキャリア教育

- 海運業界のニーズに適合した**新しい教科書**の開発を継続的に推進中（H29までに10冊を刊行）、H30年6月にはキャリア教育用の教科書「船しごと、海しごと。」の二訂版を刊行、最新の業界動向に対応する内容へと大幅な改訂を実施



- 海事分野の専門知識を分かりやすく教える**ICT教材**の開発を継続的に推進中



事業の運営

- 第1回企画委員会(5/22)をテレビ会議によって開催、5校の統括教員等が本年度計画を確認
- 第2回企画委員会(7/10)を東京において開催、5校の統括教員等が各担当サブプロジェクトの進捗を報告、今後の計画を確認

平成30年度の工程表	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
産学連携強化とニーズ把握	大規模意識調査の実施											
グローバル教育	高専教員の船舶運航実務乗船研修											
専門教育とキャリア教育	スピーチプログラムの試行			英語導入教育の強化			グローバル教育拠点の機能強化			意識調査の集計と分析		
事業の運営と成果の公開	新しい教科書の開発と刊行			ICT教材の開発と活用			グローバル教育拠点の機能強化			国際インターンシップ		
	企画委員会			企画委員会			企画委員会・運営委員会			フォーラム・企画委員会・運営委員会		

「次世代海洋人材の発掘と確保」平成29年度の取り組み

実施事業（抜粋）

海洋教育事業

産業周知事業

産業界や近隣の教育委員会、海洋少年団と連携して、現場見学や海洋に関する体験授業や講演などのイベントを開催し、海洋に関する理解を促進。
 高専祭ブース出展による海洋周知なども実施。
 津山高専弥生祭（平成29年11月開催）

連携実績

津山工業高等専門学校、八戸工業高等専門学校、都城工業高等専門学校、J-CREWプロジェクト、川崎近海汽船株式会社、株式会社宮崎カーフェリー、日本船主協会、宮崎市教育委員会、八戸海洋少年団、NPO法人宮崎ライフセイビングクラブ、商船系高専とその近隣の教育委員会や海洋少年団



高専フェア

【実施体制】



商船系高専から遠隔の海洋人材の輩出が少ない都市で実施する。高専の強み・地の利を持った**開催地域の核**となる**工業高専**や**地域社会**と連携して、高専が培ってきた高度な技術を融合させ、その**技術体験**や、**練習船**を利用した**海洋体験教育**、**企業連携した現場見学**等を行う**総合体験型学習イベント**。少年層の広域年齢や保護者、教育者を対象にしており、開催地域社会への貢献と次世代の人材発掘を行う。

高専フェア in 八戸（平成30年2月開催）

体験型学習

ものづくり体験



現場見学

大型フェリー見学



講演会

日本のものはこび



商船系高専のシンボル練習船を活用したイベントを高専フェアと連動し積極的に展開

高専フェア in 宮崎（平成30年3月開催）

体験航海

体験航海&操船体験



現場見学

大型フェリー見学



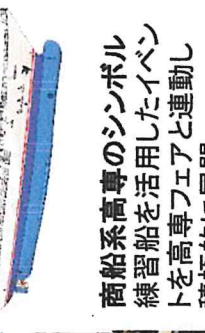
体験型学習

ものづくり体験



講演会

日本のものはこび



高専フェア in 八戸（平成30年2月開催）

体験航海

体験航海&操船体験



現場見学

大型フェリー見学



体験型学習

ものづくり体験



講演会

日本のものはこび



連携の深化を図り
 全国的にイベント展開

MRT宮崎放送提供

2018 KOSEN(高専)と産業が連携した、次世代海洋人材の発掘と確保

独立行政法人 国立高等専門学校機構
 広島商船高等専門学校
 National Institute of Technology, Hiroshima College

資料3

【取り組みの目的・内容】

事業① 産業周知事業



産業界との連携で現場見学などを行い、新技術の体験や海洋業界についてまなぶ。

産業界

商船系高専



海洋に関する理解を促進する事業

産業界との連携で現場見学などを行い、新技術の体験や海洋業界についてまなぶ。

将来日本を支える海洋人材の確保



保護者
 色々な方向の海洋周知
 広域年齢対応行事
 地域の祭り等連携行事

教育者
 それぞれの年齢で適切なイベントを体験
行事を長年継続する事で、成長過程で何度も海洋を体験する。
 海洋に関するものや、体験的な行事を行う。地域性を生かした行事も実施する。

新産業を牽引する人材育成

全国高専との連携

事業① 事業②

融合



開催地域の核となる工業高専などと協力し、高度技術も融合させる。少年層の全域にわたって、そして保護者や教育者も対象とする総合体験型学習イベント。
【成果指標】

事業②

海洋教育事業

幼児・小学校低学年対象行事

【工程表】 ● 海洋教育行事 ★ 産業現場見学

	7-9月	10-12月	1-3月
北海道東北 関東・北陸	★ ●●● ●●● ●●● 東京海洋大	高専フェア ●●● ●●● ●●●	海事フォーラム ★★●●
中部・関西	★ ●●● ●●● ●●●	●●● ●●● ●●●	神戸大(検討中)
中国地方	★ ●●● ●●● ●●●	●●● ●●● ●●●	●●●
九州・四国	●●● ●●● ●●● ●●● 高専フェア	●●● ●●● ●●●	高専フェア ★★●●
運営 その他	運営委員会 連携協議会 実務者会議	運営委員会 実務者会議	運営委員会 連携協議会 外部評価

全国各地で広域イベント展開

【実施体制】



	H28	H29	H30
入試倍率(実施年度)	2.3	2.7	2.8
高専認知向上人数	-	82名	350名
海洋興味指数	-	4.1	4.3
海洋教育向上割合	-	-	80%

【今後の展開(広島商船高専)】

海洋教育事業と産業周知事業の広域での取り組みで、全国各地から将来の海洋人材を発掘する。これにより商船志望者の出身地域の多様化が進む事が見込まれ、商船学科倍率3.0以上の継続をめざす。更に校内のユニークな学科や地域との連携により、広域学生を育成する唯一の個性を持った高専となっていく。

第4回 高専・海事教育フォーラム

平成30年度「“KOSEN（高専）4.0”イニシアティブ」支援対象事業

「新時代に活躍できる海事人材の産学連携による育成～新教育システム実装フェーズ～」
「KOSEN（高専）と産業が連携した、次世代海洋人材の発掘と確保」



日時：平成31年2月7日（木）

13:00～17:00 フォーラム 17:30～19:30 意見交換会

会場：東京海洋大学 越中島キャンパス

越中島会館2階講堂（東京都江東区越中島2-1-6）

主催：富山高専、鳥羽商船高専、広島商船高専、大島商船高専、弓削商船高専

共催：日本船主協会、全日本船舶職員協会、全日本海員組合、国際船員労務協会、
東京海洋大学（予定）、神戸大学海事科学部（予定）

フォーラム・講演

13:00~13:05	開会	富山高等専門学校長
13:05~13:10	挨拶	国立高等専門学校機構
13:10~13:15	挨拶	国土交通省
13:15~13:20	挨拶	文部科学省
13:20~14:25	平成30年度「KOSEN(高専)4.0」イニシアティブ支援対象事業 「新時代に活躍できる海事人材の産学連携による育成 ～新教育システム実装フェーズ～」報告	プロジェクト総括(富山高等専門学校)
(1)13:20~13:30	プロジェクトの背景	各サブ・プロジェクトリーダー
(2)13:30~14:25	各サブ・プロジェクト報告	
13:30~13:45	サブ・プロジェクト1 海運業界からの高度なニーズを正確に捉え、次世代海事人材が具備すべき知識・資質の内容・レベルを調査・検証する。	富山高等専門学校
13:45~14:00	サブ・プロジェクト2 コミュニケーション能力や国際性等の資質を確かな能力として定着させるグローバル教育プログラムを実装する。	鳥羽商船高等専門学校
14:00~14:15	サブ・プロジェクト3 将来の技術革新にも対応する高度な専門教育と確かなキャリア教育を商船系高専カリキュラムへ実装する。	弓削商船高等専門学校・大島商船高等専門学校・広島商船高等専門学校
(3)14:15~14:25	Q&A	
14:25~14:45	休憩	
14:45~15:25	平成30年度「KOSEN(高専)4.0」イニシアティブ支援対象事業 「KOSEN(高専)と産業が連携した次世代海洋人材の発掘と確保」報告	
(1)14:45~15:15	プロジェクト報告	広島商船高等専門学校
(2)15:15~15:25	Q&A	
15:25~15:45	休憩	
15:45~16:45	パネルディスカッション テーマ 「10/20年後に活躍する海事・海洋人材を育成するために私たちができること」 パネリスト 日本船主協会・全日本船舶職員協会・全日本海員組合・国際船員労務協会 各校統括教員(富山高専・鳥羽商船高専・広島商船高専・大島商船高専・弓削商船高専)	
16:45~16:55	今後の事業展開について	富山高等専門学校
16:55~17:00	閉会	広島商船高等専門学校長

参加申込方法

下記の参加申込書に必要事項をご記入の上、FAX または E-mail でお申し込みください。

【問合せ先】 〒933-0293 富山県射水市海老江練合 1 の 2 富山高等専門学校総務課産学連携担当
TEL: 0766-86-5108 FAX: 0766-86-5110 E-mail: kikaku7@nc-toyama.ac.jp
【参加申込期限】 平成 31 年 1 月 18 日 (金)

参加申込書

E-mail: kikaku7@nc-toyama.ac.jp
FAX: 0766-86-5110

お名前

所属(企業・教育機関)

TEL

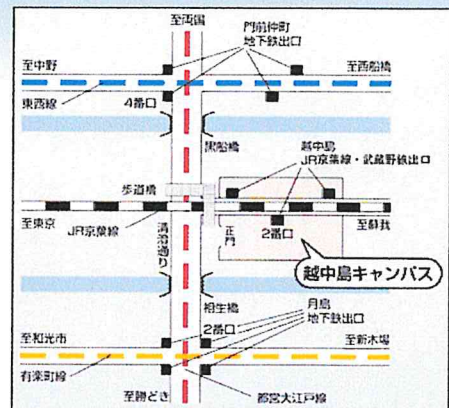
e-mail

フォーラム (13:00~17:00) 参加 / 不参加

意見交換会 (17:30~19:30) 参加 / 不参加
(参加費あり)

※個人情報の管理: 申込書の個人情報は、本フォーラム以外の目的では使用しません。

会場へのアクセス



- ※JR 線京葉線・武蔵野線 越中島駅(各駅停車のみ)2 番出口徒歩 2 分
- ※地下鉄東西線・大江戸線「門前仲町駅」4番出口徒歩 10 分
- ※地下鉄有楽町線・大江戸線「月島駅」2 番出口徒歩 10 分